

平成30年度

町長マニフェスト進捗状況管理表

(平成30年度～令和3年度 1年目)

令和元年(2019年)9月

熊本県 益城町

目次

◆ 被災者の住まい再建 さらに加速 （住まい再建）	1
◆ 一刻も早い復興整備 近い将来の賑わ いへ（復興整備）	2
◆ 震災から立ち上がる 町民主役のまち づくり（住民主役）	3
◆ 地域みんなで育てる 子どもは町の宝 物（子ども）	4
◆ 農業・商工業・観光業を連携 「益城 ブランド」づくり（益城ブランド）	5
◆ 地域みんなで見守る 福祉が充実した まちへ（福祉の充実）	6

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】

◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む)。

マニフェスト	被災者の住まい再建 さらに加速			
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度の進捗状況		担当課等
現在、災害公営住宅の建設を重点的に進め、平成31年1月からの入居を目指しています。	★災害公営住宅の建設	○	○	公営住宅課
	★災害公営住宅団地会設立支援	○		
被災した賃貸住宅を再建する場合に、建設費の一部を補助する新たな制度を導入し、民間賃貸住宅の再建を支援します。	★被災民間賃貸住宅復旧支援事業補助金(復興基金事業)	◎	◎	企画財政課
被災者の個別の事情に寄り添い、復興基金を活用して住まい再建の支援をさらに充実させます。	★新築住宅地盤改良工事補助事業(復興基金事業)	◎	◎	復旧事業課 下水道課 生活再建支援課
	★浄化槽設置事業補助金(復興基金事業)	◎		
	★被災者転居費助成(復興基金事業)	◎		
	★被災者民間住宅入居支援助成(復興基金事業)	◎		
	★公営住宅入居費助成(復興基金事業)	◎		

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】
 ◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。
 ○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。
 ⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む。)

マニフェスト	一刻も早い復興整備 近い将来の賑わいへ			
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度の進捗状況		担当課等
災害はもとより、日々の暮らしを快適にするための区画整理を進めるとともに、買い物が便利になる商店街づくりを目指します。また中心部のみならず、各地域の拠点の整備も計画していきます。	★益城中央被災市街地復興土地区画整理事業	○	○	復興整備課 都市建設課 下水道課
	益城台地西地区土地区画整理事業	○		
	★益城台地中地区土地区画整理事業	○		
	★益城台地東地区土地区画整理事業	○		
	★益城台地西地区の下水道整備推進	○		
	民間開発誘致事業	○	○	都市建設課 水道課 下水道課
	★主要道路における水道管敷設事業	○		
	開発に合わせた下水道の整備	○		
	新！木山商店街創出事業(オープンスペースの活用)	⇒	⇒	産業振興課
	新規起業主応援事業	⇒		
	★復興まちづくり計画の推進	○	⇒	産業振興課
	(仮称)震災記念公園整備事業(コミュニティ拠点創出事業含む)	⇒		
	(仮称)震災記念公園中心拠点整備事業	⇒		
	デザイン会議	⇒		
新産業拠点(空港周辺)創出事業	⇒			
県道熊本高森線の道路幅を27メートルに拡幅することで、4車線化により、安全・安心かつ、スムーズに通行できる道路にします。さらに、広い歩道により子ども達の安全な通学路を確保します。また、広い歩道を活用しオープンカフェを開催するなど、道路づくりを通したまちの賑わいや魅力づくりに取り組みます。	★下水道管渠の整備	○	○	産業振興課
	★益城中央線整備事業	○		
	★益城東西線整備事業(社会資本整備総合交付金事業)	○		
	南北線整備事業	○		
	第二南北線整備事業	○		
	★横町線整備事業(社会資本整備総合交付金事業)	○		
	安全な通学路整備事業	○		
	歩道を活用した賑わいづくり事業の検討	⇒	⇒	産業振興課 下水道課
	デザインマンホール検討	⇒		

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】
 ◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。
 ○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。
 ⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む。)

マニフェスト	震災から立ち上がる 町民主役のまちづくり				
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度の進捗状況		担当課等	
震災時に町民の皆様の命を守るため、避難地(公園)の整備や、他自治体・民間企業との被害時応援協定を締結。さらには自主防災組織の設立や活動を支援するなど、まちの防災力を徹底的に強化します。	★避難路避難地整備事業	○	○	復興整備課 学校教育課 企画財政課	
	★公衆無線LAN整備事業	○			
震災時に町民の皆さまの命を守るため、避難地(公園)の整備や、他自治体・民間企業との災害時応援協定を締結。さらには自主防災組織の設立や活動を支援するなど、町の防災力を徹底的に強化していきます。	★協定の締結および締結後の相互協力関係の構築・強化	◎	◎	危機管理課	
	★自主防災組織結成支援	◎		危機管理課 総務課	
	★ましき防災塾(防災士養成)	○	○		
	★震災記録誌作成(復興基金事業)	○			
まちづくり協議会の活動をバックアップする他、「職員地区担当制」を導入することで、町民の意見を反映させる仕組みづくりを行っています。	★まちづくり協議会活動支援事業	○	◎	復興整備課 企画財政課	
	★まちづくり団体活動支援事業	◎			
	職員地区担当制事業	⇒	⇒	総務課	
震災遺構や震災記念公園を整備し、震災の語り部活動を支援。また、若者の復興活動「未来トーク」など、老若男女の町民が主体となって行う復興活動を後押しします。	(仮称)震災記念公園整備事業(再掲)	⇒	⇒	企画財政課 生涯学習課	
	歴史生き生き! 史跡等総合整備事業	○			
	語り部活動推進事業	○	○	産業振興課	
	★未来トーク支援	◎		産業振興課	
	★まちサポ登録団体成果発表会	◎			
	まちサポ登録団体スキルアップ講座	◎			
	まちサポからの情報発信の再開	○	◎		
	★まちづくり活動団体支援助成金(再掲)	◎			
★協働のまちづくり人材育成(新ふるさと総研)	◎				
★復興まちづくりアドバイザー事業	⇒				

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】
 ◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。
 ○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。
 ⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む。)

マニフェスト	地域みんなで育てる 子どもは町の宝物		
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度 の進捗状況	担当課等
子ども達の心身の健康を支えるため、ふれあい公園の整備を目指します。また、炊き出しなどの防災設備を完備した災害に強い給食センターを急ピッチで復旧し、子ども達の健康をしっかりと支えます。	★潮井自然公園整備事業	○	都市建設課 産業振興課
	「地域のふれあい公園」(新規及び既存公園)の整備検討	⇒	
	森林を活かした「自然とふれあう公園」の整備検討	⇒	
子ども達の心身の健康を支えるため、ふれあい公園の整備を目指します。また、炊き出しなどの防災設備を完備した災害に強い給食センターを急ピッチで復旧し、子ども達の健康をしっかりと支えます。	★食料等の備蓄(災害時食料調達・供給計画に基づく)	◎	◎ 危機管理課
待機児童問題の解消に向け、現在、保育士確保のための施策を進行中です。“安心して子育てができる益城町”を目指しています。	★処遇改善加算	◎	子ども未来課
	企業主導型保育事業の導入	◎	
学校教育に地域の声を生かした「コミュニティ・スクール」を導入します。町の宝物である子ども達を、地域みんなで大切に見守り育てる仕組みをつくれます。	★益城町コミュニティ・スクール推進連絡協議会の設立	◎	◎ 学校教育課
	★小中学校で学校運営協議会の設立	◎	
	大学等と連携した専門的授業の導入	○	
	★地域おこし協力隊	○	
	ふるさと学の実施	◎	
	日本語教育の実施	○	
	既存各協議会等の運営	◎	⇒ 福祉課 子ども未来課 健康づくり推進課 産業振興課
	既存各協議会等の運営	⇒	
	企業主導型保育事業の導入(再掲)	◎	
	子育て包括支援センターの設置	⇒	
	子育て世代提案制度の導入	⇒	
	ママさんグループ起業支援	⇒	

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】
 ◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。
 ○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。
 ⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む。)

マニフェスト	農業・商工業・観光業を連携「益城ブランド」づくり		
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度の進捗状況	担当課等
農業・商工・観光を連携させ、益城ブランドを確立します。地元の特産品をプロデュースし、国内外に町の魅力を売り込む「地元商社」や、物産館の設立を目指します。また、地域住民による古民家カフェやフットパスとも連携し、来町者を呼び込み、まちに活気を取り戻します。	耕作放棄地活用支援事業	○	⇒ 産業振興課
	東海大学との連携事業の検討・推進(耕作放棄地活用等)	⇒	
	市民農園整備促進事業	⇒	
	森イベント(仮称)支援事業	⇒	
	企業等と連携した営農力強化に対する支援事業(裏作の推進)	○	
	有害鳥獣の積極的活用に係る事業	○	
	東海大学との連携事業の検討・推進(再生可能E導入等)	⇒	
震災時に町民の皆さまの命を守るため、避難地(公園)の整備や、他自治体・民間企業との災害時応援協定を締結。さらには自主防災組織の設立や活動を支援するなど、町の防災力を徹底的に強化していきます。	★観光拠点整備等推進事業(復興基金事業)	○	⇒ 産業振興課
	体験農業推進事業	⇒	
	★町内物産取扱店の魅力度向上事業	○	
	物産取扱店新設支援事業(企業活動への支援)	⇒	
	古民家利活用事業	○	
	東海大学との連携事業の検討・推進(グリーンツーリズム等)	⇒	
	特産品開発支援事業(例:はびまる、未来トーク)	○	
	「ましきみやげ」認定事業	⇒	
	地域商社設立に向けた検討	⇒	
農業・商工・観光を連携させ、益城ブランドを確立します。地元の特産品をプロデュースし、国内外に町の魅力を売り込む「地元商社」や、物産館の設立を目指します。また、地域住民による古民家カフェやフットパスとも連携し、来町者を呼び込み、まちに活気を取り戻します。	★益城町商店街にぎわい復興支援事業	⇒	○ 産業振興課 企画財政課 復興整備課
	まちづくり活動団体助成金(再掲)	◎	
	まちづくり会社設立支援事業	⇒	
	★にぎわい復興ビジョンの策定、推進	◎	
	★復興イベント補助(復興基金)	○	
国・県と連携し、ICTの最新技術を農業分野にも導入し「スマート農業」で、生産の低コスト化や農業者の負担軽減を実現させます。	★ICT農業戦略特区(仮称)	⇒	⇒ 産業振興課
	★IT業者×農業のお見合い	⇒	

町長マニフェスト進捗状況管理表

【進捗状況の記号の意味】
 ◎: 取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。
 ○: すでに取り組んでおり、「進行中」である。
 ⇒: 取り組みを進めているが、平成30年度末までに達成が見込めない(「準備中」含む。)

マニフェスト	地域みんなで見守る 福祉が充実したまちへ		
目 標	取組状況 平成30年度(実績)	平成30年度 の進捗状況	担当課等
町民同士のふれあいの場や、交流の機会を充実させ、地域における支え合いや助け合いを育み、年齢や障がいの有無に関係なく全ての町民が笑顔で暮らせる環境づくりを進めています。	地域コミュニティ支援事業	⇒	○ 福祉課 生活再建支援課 公営住宅課
	★復興関連ボランティア助成(復興基金)	◎	
	地域見守りサポーター養成事業	⇒	
	社会福祉協議会への人的支援(職員派遣)	◎	
	★災害公営住宅団地会設立支援(再掲)	○	
	★社会福祉協議会との連携強化	○	
	地域福祉を専門に所管する部署の新設	○	
	各集落地域コミュニティ形成支援事業	⇒	
	各集落福祉関係者協議会(仮称)の設立・運営	⇒	⇒ 福祉課
歩くことから健康をつくる“あるくプロジェクト”を立ち上げます。	★ましきポイント健康事業	○	○ 健康づくり推進課 復興整備課
	健康視点での歩道整備	⇒	
	★地域健康教室	○	